

公益社団法人 神奈川県鍼灸師会 理事会議事録（平成28年度 第3回）

【日時】 平成28年9月4日（日） 15:15～17:15

【会場】（公社）神奈川県鍼灸師会 事務所

【次第】 1、会長挨拶 2、出席確認 3、署名人指名 4、議事 5、閉会の辞

【出席13名】 理事：清水、秦、窪田、栗田、藤田、林、吉田、萱間、榊原

監事：森下

相談役：日野、千葉

事務局：定成

【欠席2名】 喜島、松原

【議長】 清水会長

【書記】 定成

【議事録署名人】 清水、森下

【議題】

〔I〕報告事項

1. 会務報告

・平成28年度 代議員総会（6/5開催）

秦副会長より別紙のとおり報告があった。

・県庁訪問、第1回 神鍼会正副師会長会議（6/22開催）

窪田副会長より別紙のとおり報告があった。

・平成28年度 全国部長会議、意見交換会（7/3開催）

秦副会長より別紙のとおり報告があった。林組織共済部長からは、入会の理由について日本鍼灸師会（以下、日鍼会）から報告があり、1位が賠償責任保険、2位が療養費取扱い、3位が開業であった。榊原保険副部長からは、10月1日より療養費の改定が行われることが報告された。

・第3回 第4回 業務執行理事会（7/13 8/24開催）

秦副会長より別紙のとおり報告があった。

・平成28年度 日鍼会関東ブロック正副師会長会議、関東ブロック会議（8/7開催）

窪田副会長より別紙のとおり報告があった。

・第1回（株）ウーベル保険事務所との意見交換会（8/24開催）

窪田副会長より、当会から清水会長、秦副会長、窪田副会長、林組織共済部長、定成事務局員が、（株）ウーベル保険事務所から岡崎社長、秋山新担当が出席し、賠償保険の手順、保険適用の条件などの説明、前担当者の対応に対する謝罪と前担当者が更迭されたこと、説明を受けた内容を当会会員に周知することに対する許可、未定ではあるが賠償保険の講習会を開催することなどが報告された。

2. 各部からの報告

・第1回 広報普及委員会（6/20開催）

萱間広報普及部長より別紙のとおり報告があった。

・第3回 学術講習会、第2回イブニングセミナー（6/26 7/20開催）

藤田学術部長より、イブニングセミナーは岩元健朗先生の講義が素晴らしかったにも関わらず、参加者が14名と少なかったため今後は各学校にも告知し、参加者数を増やす努力をすとの報告があった。また清水会長より神奈川県鍼灸マッサージ師会にも告知したほうがいいのではとの意見があった。

・平成28年度 日鍼会共催 関東ブロック学術講習会(6/26開催)

藤田学術部長より、当会の第3回学術講習会と同日開催であったため、当会からは藤田学術部長と小宮学術部員の2名が参加したこと、参加者が30名強のうち当会からの参加が5名であったことが報告された。

・第1回 初心者講習会、第1回 療養費適正運用研修会(7/31開催)

榊原保険副部長より別紙のとおり、初心者講習会は2名、研修会は9名の参加であったことが報告された。また当会では研修会の参加が必須事項であるが、参加されずに保険請求をする会員がいること、返戻の多い会員が特に参加しないとの報告もあり、これに対し、清水会長より直接連絡するなりして必ず参加させるように、また契約書を交わし参加しない場合は保険請求させないなどの措置も考慮に入れた対応を検討するようとの指導があった。

・一般情報誌「ACUMO第6号」取材(8/16開催)

萱間広報普及部長より別紙のとおり、鍼灸に理解のある整形外科医に取材したこと、現在編集中であること、発行には余裕をもって対応していることが報告された。

・第7回 JIMTEF災害医療研修ベーシックコース受講の件

秦副会長より、当会申し込み6名に対し2名の受講であったことが報告された。また萱間広報普及部長より、災害医療に対して鍼灸マッサージ業界がまだまだ遅れていること、組織化が必要であること、窓口が一本化されるべきであること、この講習を当会のキックオフミーティングに還元していくことが報告された。報告書は後日提出する。

・日鍼会保障プランの加入勧奨について

林組織共済部長より、今回は時間がないため郵送はせず、メール配信にて勧奨したとの報告があった。

3. 入退会の報告

秦総務部長より次第のとおり、9月1日付までの入会が7名(うち学生1名)、退会が閉院と一身上の都合の2名、現在の会員数が233名(うち学生8名)との報告があった。

4. その他

・みなし決議

秦総務部長より次第のとおり、藤田学術部長提案の「学術講習会の日程変更について」が7/19付で承認された旨が報告された。

〔Ⅱ〕審議事項

1. 当会のグランドデザインについて

清水会長より別紙のとおり、2020年までに会員を300名まで増やしたいこと、将来を見据え若手の鍼灸師を中心とした「検討委員会」を創設したいこと、地区割りを再度構築したいこと、療養費取り扱いを他団体と協力し強化したいことが提案された。この件は今後の課題としたが、方向性については、審議の結果、全会一致にて承認可決された。

2. 新入会申請書の運用について

林組織共済部長より別紙のとおり説明があり、各理事から活発な意見交換が行われ、窪田副会長、栗田業務執行理事、藤田業務執行理事、林組織共済部長、千葉相談役の5名でもう一度話し合い、校正したものをみなし決議にて理事MLに配信することとなった。また紹介者について、事務局対応にて電話または書面でお礼を伝えることとなった。

3. ファイルのパスワードについて

秦総務部長より説明があり、2. の新入会申請書の記入事項がより細かくなったため、個人情報を守る観点から、申請書を圧縮ファイルに変換しパスワードをかける提案があった。また今後はみなし決議にて入会の是非を問うこととし、みなし決議に必要な理事、監事12名のみパスワードを知らせ、相談役などには知らせないことで、より漏えいの可能性を減らす。パスワードは後日口頭にて秦総務部長から告知することとした。以上の提案は、全会一致にて承認可決された。

4. 会員支援案について

藤田業務執行理事より別紙のとおり説明があり、事務局が支援の窓口となり、藤田業務執行理事と萱間理事が責任者となる。この提案は、どちらが総責任者とするかは一任とし、全会一致にて承認可決された。

5. 保険部長交代の件

清水会長より別紙のとおり説明があり、榊原保険副部長を保険部長に昇格させ、清水克紀保険部員を保険副部長に、服部政博氏を保険部員に、吉田保険部長を担当のない理事として当会全般のサポートを行う案が提案され、賛成多数にて承認可決された。

6. 臨床鍼灸スポーツトレーナー共催の件

清水会長より、東京都鍼灸師会(以下、東鍼会)主催の臨床鍼灸スポーツトレーナーの共催について、東鍼会の高田会長から直接電話にて問い合わせがあり、協賛金20,000円と共催の承諾をしたとの説明があった。また共催に当たり、当会でも1回は主催する必要があるとの意見も出された。秦副会長より、第2回の臨床鍼灸スポーツトレーナー講習会が当会の災害医療研修キックオフミーティングと同日開催のため、東鍼会担当の岩元副会長と直接お話しをし、第3回以降からの共催のお願いをし、承諾を受けているとの報告もあった。この件は、第3回からの共催の案で承認可決された。協賛金20,000円は事務局が振り込みをする。また第3回には秦副会長、藤田学術部長が出席の予定。

7. 患者さんからの問い合わせの件

秦副会長より別紙のとおり報告があり、会員に詳しい服部政博氏に意見を求め、ふさわしい会員が見つければ紹介し、見つからない場合は謝罪の連絡をいれることで合意した。

8. 次回郵送日程の前倒しの件

秦総務部長より、療養費の改定が10/1に行われるため、会員への周知が9月中に行う必要があり、それだけで郵送すると送料に無駄が出るため、10月に予定されていた会員郵送日程を前倒しし、療養費の改定と一緒に送る必要があるとの説明があった。日程の前倒しについては全会一致で承認可決され、郵送日を9/16とした。またその後の郵送日程も前倒しし、11/18、1/20とした。原稿締め切りは郵送日の二日前とした。

9. 災害支援鍼灸師登録の件

清水会長より口頭で説明があり、9/4のJIMTEF災害医療研修修了者を含め、事務局から電話にて登録のお願いをし、1週間以内に表にまとめ、日鍼会に送ることとした。秦副会長、栗田財務部長、萱間広報普及部長の3名はこの場で登録の許可をした。

10. その他

・海街自治運営会の件

秦副会長より別紙のとおり説明があり、全会一致にて承認可決された。登録は事務局が進める。

・地域担当制度案について

藤田業務執行理事より、今後、地域分けをする必要があることが説明された。この件は、第5回業務執行理事会にて協議することとした。

・療養費適用治療院の見学について

榊原保険副部長より、当会会員から療養費を扱った治療院の見学をしたいとの問い合わせがあり、まず会として事務局を窓口にしてほしいとの報告があった。また講習会の中で、どのように療養費治療を進めているか実演を交えて講習してはどうかとの意見も出された。他に、現在療養費を扱っていて、見学をしてもいいという会員を探し、療養費適用治療院見学として行ってはどうかとの意見も出された。この件は、後日まとめて提案をすることとなった。

次回、平成28年度第4回理事会の開催は、平成29年2月5日(日)16時から行われる。

以上で、すべての審議を終了し、理事会は閉会した。

(作成:秦宗広)

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事および監事は記名押印する。

平成28年9月4日

代表理事 清水 慎 司 印

監 事 森 下 元 印